

产地 直送便



発行(農)山形おきたま産直センター
山形県南陽市漆山 1068
TEL 0238 (47) 7338
<http://www.okitama.net>
2015.6.1 発行 責任者 星隆之

“ “ “田植え” ” ”

こんにちは。青年部の新関 拓也です。

今年も早いもので5月なり、田んぼに用水が来て中旬にもなると私の住む南陽市でも田植えの季節が到来します。

おきたま産直センターでは有機栽培や特別栽培など環境にも配慮したお米づくりを推進しています。

私も有機栽培での稻作に取り組んでいますが、有機栽培もそれ以外の田んぼも基本は同じ田植機で同じように植えるだけです。

では何が違うのかと言えば有機栽培でのお米づくりは苗作りの段階から科学的な農薬や肥料を一切使わず作り始め、それは田植え後も続きます。

病気の苗に成らないように種子は「温湯処理」という熱消毒を行ったり、田んぼに移植後の苗に付くイネミズゾウムシなどの害虫に負けない丈夫な苗を目指した播種と育苗管理を行ったりしています。

田植えが終われば除草剤を使わない為、雑草が出て稻の成育を妨げますので機械や手取りでの除草作業が待っています。

どれも普通の米作りでは農薬で済んでしまうところを田んぼやその周辺の環境に気を使いながら、更には美味しいお米を作る為に日々努力しています。

有機米生産者 新関拓也



✿ 花摘み ✿

今年は4月下旬から好天が続き、果樹の花がいっせいに咲きました。花の時期に忙しくなるのがりんごとラ・フランスで、花摘みという作業があります。これは、6~7つ咲いた花のなかから1つを選んで、その他の花を摘むという作業です。

花をたくさんつけたままだと、大きな果実になりません。

食べる人に喜んでもらえるような大玉の果実をつくるための大変な作業です。収穫は10月ですが、よいものができるようにいまからがんばっています。

果樹生産者 竹田聰

～土壤分析～



先日、土壤分析を行いました。

土壤分析とは、作付する圃場から土を採取し、今どれだけの肥料や成分があるのかを調べることです。

その結果をもとに、作る作物に応じて、どの程度の肥料を施したらよいのかを決め、肥料コストの削減、過剰な肥料による地下水汚染の防止、栄養価の高い農産物生産に役立てています。

また今まで積み上げてきた産直センターの生産技術と化学的なデータを合わせ、より良い農産物を生産していきたいです。

果樹/野菜生産者 小口孝之



山形の家庭料理『山形のだし』レシピ



山形では、夏になると食卓に各家庭オリジナルの『だし』が登場します。

食欲がなくなる暑い夏にぴったり！さっぱりとした『だし』をあつたかご飯にたっぷりかけて暑い夏をのりきりましょう！

材料(3~4人分)

○きゅうり/大1本 ○なす/大1本
○大葉/3枚 ○麺つゆ/適量



作り方 ~一般的な材料~

1. きゅうり、なす、大葉をみじん切りにします。
2. 麺つゆ(だし醤油)をかけて混ぜれば出来上がり。

~アレンジ~

○みょうが ○オクラ ○ネギ ○七味唐辛子 ○鰹節 etc.

などお好みの食材をみじん切りにして、我が家の『だし』をお好みで作ってみてはいかがでしょうか。
また、冷や奴の薬味などにも利用出来ます。

産直米変更連絡用紙 山形おきたま産直センター行き→FAX 0238-47-7318

お休みや重量変更などのご連絡は、お届日の10日前まで受付。

急な変更等は対応出来ない場合がございます。早めのご連絡をよろしくお願ひ致します。

お客様コード NO

FAX 送信日 月 日

氏名 様

□ - -

お休み連絡

月 日お届け分のみお休み

月～ 月までお休み

変更連絡

月 日お届け分の変更

～変更内容～